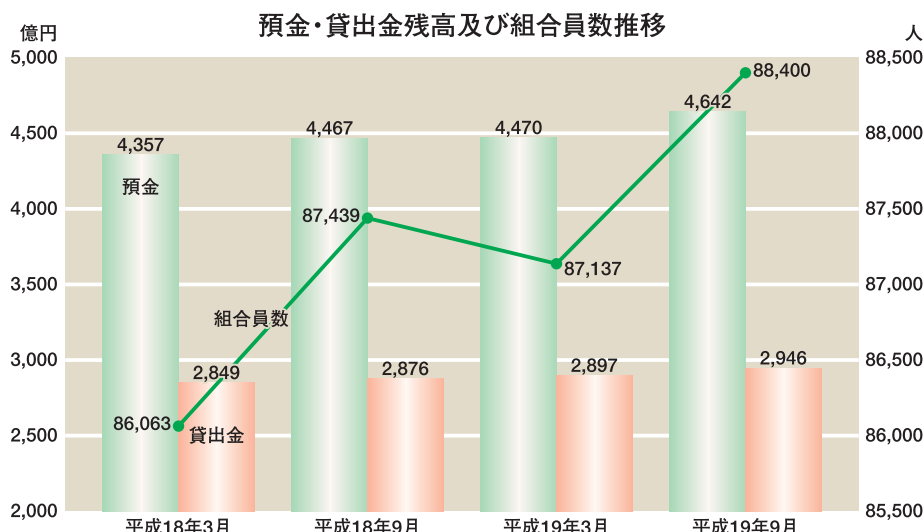


平成19年9月期の業績

預金・貸出金、組合員数は順調に増加しました

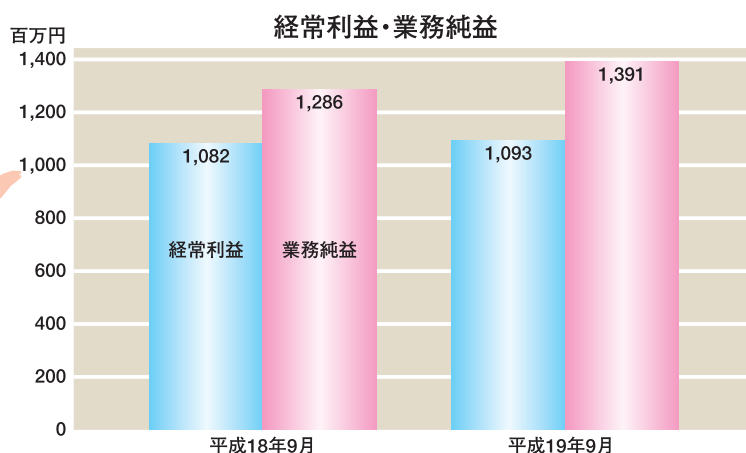


業容は順調に伸展し、預金残高は前年同期比3.9%(175億円)増加し、4,642億円となりました。一方、貸出金は中小企業の資金需要が依然として低迷を続ける環境下でしたが、これまで通り地元への資金還元を旨として、地域金融機関としての独自性と機能発揮に特化した事業資金の積極推進に努めた結果、前年同期比2.4%(69億円)増加し、2,946億円となりました。また、組合員数は前年同期比961名増加し、個人・法人総数で88,400名となり、普通出資金は前年同期比2億19百万円増加し、76億79百万円となりました。

(注) 貸出金は平成18年3月期から部分償却を実施しており、償却後の残高となっております。

経常利益は堅調に増加し、10億93百万円を確保しました

収益は、前期に引き続き本業であります預貸金業務に特化した積極的事業運営と経費の削減を中心とする経営の効率化に取り組みました結果、業務純益は前年同期比8.2%(105百万円)増加し13億91百万円となり、本業による利益を示すコア業務純益は11億40百万円となりました。また、経常利益は安定増加し、10億93百万円となり、当期純利益は9億13百万円となりました。



不良債権比率は2.94%に改善され、資産の健全化が一層図れました

(単位:百万円,%)

区分	金融再生法で定められた債権の状況							
	平成19年3月末				平成19年9月末			
	債権額	保全額	保全率	構成比	債権額	保全額	保全率	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,160	3,160	100.00	1.1	3,103	3,103	100.00	1.0
危険債権	6,131	4,752	77.50	2.1	5,170	4,213	81.48	1.7
要管理債権	457	297	64.98	0.1	462	293	63.41	0.2
(小計)	9,749	8,209	84.20	3.3	8,735	7,610	87.12	2.9
正常債権	282,711	—	—	96.7	288,306	—	—	97.1
合計(総与信)	292,460	—	—	100.0	297,042	—	—	100.0

不良債権比率は前期末(19年3月3.33%)比0.39%改善されました。

なお、部分償却は平成18年3月期より実施しており、その額は平成19年3月期5,411百万円、平成19年9月期5,624百万円であります。

(注1) 単位未済を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中合計額とは一致しないことがあります。

(注2) 総与信とは貸出金と貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金および債務保証見返)を含んだ合計額です。

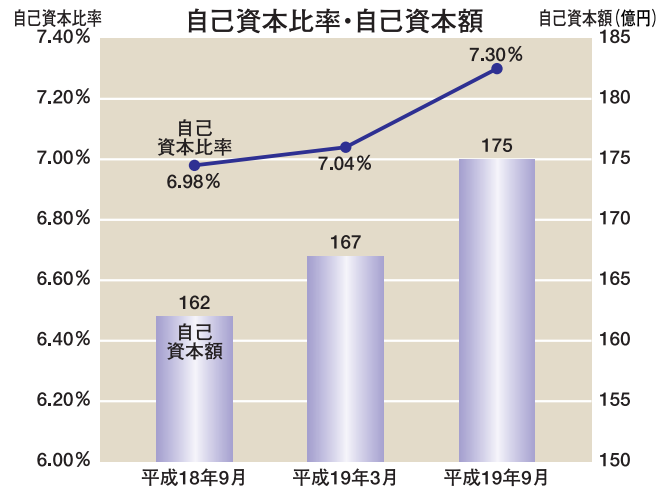
自己資本額も順調に増加し、自己資本比率は7.30%に向上しました

(単位:百万円)

自己資本比率			
項目	平成18年9月末	平成19年3月末	平成19年9月末
自己資本比率	6.98%	7.04	7.30
自己資本額	16,270	16,726	17,589
基本的項目	14,231	14,809	15,744
補完的項目	2,038	1,926	1,855
控除項目	—	10	10
リスク・アセット	232,882	237,436	240,824

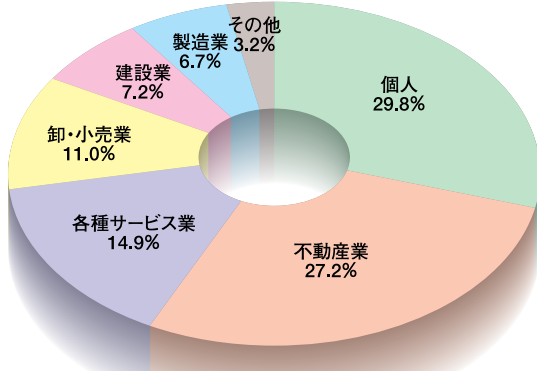
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}(17,589)}{\text{リスク・アセット}(240,824)} \times 100 = 7.30\%$$

※リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスクウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額です。



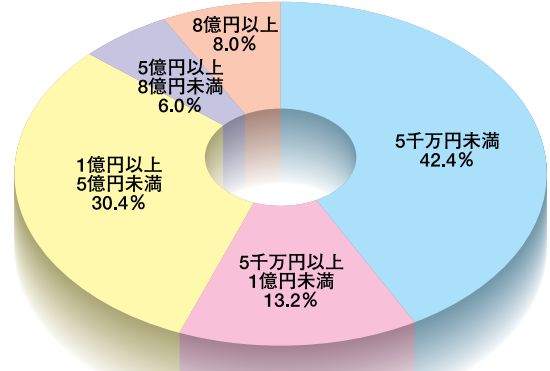
貸出は小口多数で各業種に分散されリスクに強い取引基盤を確立しています

貸出金業種別残高構成比



大信は、地元でお預りした預金は地元へ還元することを基本姿勢として、地元の皆様の資金ニーズに積極的にお応えすることで地域の振興発展のためにお役に立つことを基本的な使命としております。

貸出金の金額段階別残高構成比



大信の貸出金は1億円未満が55.6%(うち5千万円未満が42.4%)と小口の貸出が過半を占めており、リスク分散を図りながら堅固な取引基盤を確立しております。特定先への貸出金の集中や法令違反となるような大口の貸出は一切ありません。

安全性重視の有価証券運用で評価益を安定確保しています

(単位:千円)

有価証券の取得原価、時価、貸借対照表価額及び評価損益							
項目		取得原価	時 価	貸借対照表価額	評価損益		
有 価 証 券	売買目的有価証券	平成18年9月末	—	—	—	—	
		平成19年3月末	—	—	—	—	
		平成19年9月末	—	—	—	—	
	満期保有目的の債券	平成18年9月末	43,166,755	42,933,523	43,166,755	▲233,231	
		平成19年3月末	41,595,320	41,427,547	41,595,320	▲167,772	
		平成19年9月末	39,878,488	39,731,021	39,878,488	▲147,466	
	その他有価証券	平成18年9月末	2,822,758	3,827,288	3,827,288	1,004,529	
		平成19年3月末	2,585,896	3,503,388	3,503,388	917,492	
		平成19年9月末	2,251,915	2,768,149	2,768,149	516,233	
	計	平成18年9月末	45,989,514	46,760,812	46,994,044	771,297	
		平成19年3月末	44,181,216	44,930,935	45,098,708	749,719	
		平成19年9月末	42,130,403	42,499,170	42,646,637	368,767	

(注1) 「その他有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としておりますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。

(注2) 本表に掲げる取得原価は、償却原価から減損処理額(該当額が発生した場合)を控除した後の残高を計上しております。

平成19年9月期 仮決算状況

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成19年9月	平成18年9月	平成19年3月	科 目	平成19年9月	平成18年9月	平成19年3月
(資産の部)				(負債の部)			
現金	5,760,689	6,253,281	5,585,953	預金積金	464,230,467	446,727,942	447,098,597
預 け 金	128,613,477	112,454,032	114,206,646	借入金	1,540,000	1,540,000	1,540,000
買入金銭債権	14,750	—	15,000	その他負債	3,619,121	3,143,948	3,584,578
有価証券	42,646,637	46,994,044	45,098,708	退職給付引当金	1,233,802	1,210,643	1,229,084
貸 出 金	294,633,840	287,645,948	289,780,979	役員退職慰労引当金	210,448	172,647	191,718
その他資産	3,873,338	2,686,857	3,050,182	再評価に係る繰延税金負債	160,664	160,664	160,664
有形固定資産	10,019,808	—	10,071,792	債務保証	2,117,677	2,572,714	2,376,290
無形固定資産	1,725,111	—	1,722,497	負債の部合計	473,112,183	455,528,560	456,180,934
(動産不動産)	(11,744,919)	(12,111,514)	(11,794,290)	(純資産の部)			
繰延税金資産	1,204,280	1,417,860	1,249,628	うち普通出資金	7,679,032	7,459,112	7,471,468
債務保証見返	2,117,677	2,572,714	2,376,290	うち優先出資金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
貸倒引当金	▲859,213	▲1,154,273	▲939,005	うち資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
(うち個別貸倒引当金)	(▲654,953)	(▲886,286)	(▲703,287)	うち利益剰余金	6,152,103	4,851,820	5,483,571
				(当期純利益)	(913,928)	(900,059)	(1,531,809)
				純資産の部合計	16,638,213	15,453,420	16,037,741
資産の部合計	489,750,397	470,981,981	472,218,675	負債及び純資産の部合計	489,750,397	470,981,981	472,218,675

(注1) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 部分償却は平成18年3月期より実施しており、平成19年9月期5,624百万円、平成18年9月期5,612百万円、平成19年3月期5,411百万円となっております。

(注3) 改正会社法の施行に伴い、19年3月より一部勘定科目が新設・変更となっております。従来の「動産不動産」は「有形固定資産」「無形固定資産」に分かれ、従来の「組合員勘定」は「純資産の部」に変更されております。

(注4) 19年3月より新設された「有形固定資産」「無形固定資産」の合計額を従来の「動産不動産」で表示しております。

損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成19年9月	平成18年9月	平成19年3月	科 目	平成19年9月	平成18年9月	平成19年3月
経常収益	5,932,169	5,585,214	11,404,959	借入金利息その他	19,774	15,918	33,680
資金運用収益	5,393,960	5,209,610	10,481,191	役員取引等費用	159,009	171,329	333,481
貸出金利息	4,709,882	4,640,350	9,338,121	その他業務費用	144	71	1,862
預け金利息	466,125	380,354	825,069	経 費	3,860,069	3,905,050	7,775,946
有価証券利息配当金	151,095	122,144	251,240	その他経常費用	135,165	116,397	564,118
その他の受入利息	66,857	66,760	66,761	経常利益	1,093,071	1,082,656	1,923,107
役員取引等収益	237,530	217,090	442,890	特別利益	1,839	3,948	6,425
その他業務収益	227,645	23,030	279,848	特別損失	—	1,561	7,255
国債等債券売却益	219,782	11,560	260,561	税引前当期純利益	1,094,910	1,085,043	1,922,277
その他の業務収益	7,862	11,470	19,287	法人税・住民税及び事業税	10,000	10,000	20,000
その他経常収益	73,032	135,483	201,029	法人税等調整額	170,982	174,984	370,468
経常費用	4,839,098	4,502,557	9,481,851	当期純利益	913,928	900,059	1,531,809
資金調達費用	684,709	309,709	806,442	前期繰越金	460,174	474,761	474,761
預金積金利息	664,935	293,790	772,761	当期末処分剰余金	1,374,103	1,374,820	2,006,571

(注1) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

地域のお客様とともに選ばれる金融機関を目指して

協同組織による地域金融機関として、「心・ふれあい」の信頼関係を大切に、良質な金融サービスを目指します。

■「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

当組合は、これまで一貫して「協同組織による地域金融機関として、地域に密着し地域社会に貢献すること」を経営理念とし、組合員、お取引先の皆様との「心・ふれあい」の信頼関係を大切にして、中小企業金融の円滑化と地域経済の活性化に貢献する存在意義ある信用組合を目指し、平成15年度からの4年間を重点取組み期間とする「地域密着型金融推進計画」を掲げ、創業支援、事業再生支援、事業承継支援等中小企業金融の円滑化に向けて取組んでまいりました。これからも更なる内容の充実と地域における存在感(存在意義)を確立するため地域密着型金融の取組みを恒久的な取組みと捉え、何をすればお客様に喜んでいただけるかを大切に、地域の皆様に有益で評価される良質な金融サービスの提供に努めてまいります。

推進のキーワード

足(フットワーク)に頭(ヘッドワーク)をプラスした地域金融機関としての「大東京」のネットワーク化

3つの「柱」

ライフサイクルに応じた地域の事業者の支援強化

- 創業支援
- 経営改善支援
- 事業再生支援
- 事業承継支援
- ビジネスマッチング

事業価値を見極める融資手法と中小企業に適した資金供給手法の強化

- 目利き機能向上による金融仲介機能の強化
- 担保・保証に過度に依存しない融資の推進

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域経済活性化のための多様な金融サービスの提供と外部専門家・専門機関との連携強化
- 再チャレンジへの支援

■ライフサイクルに応じた地域の事業者の支援強化

○事業再生・中小企業の円滑化等に関する取組み実績

取組み内容等	実績
平成16年3月に創設した事業再生向け商品を含む事業再生目的融資に取組んでいます。	○平成19年度上期取組実績/7件:929百万円 ○実績累計/174件:26,092百万円

- 経営支援に向けたビジネスマッチングの取組み
- 信組ネットワークを活用した「あのネット」及び「ビズネット」による情報提供

■事業価値を見極める融資手法と中小企業に適した資金供給手法の強化

- 各種外部研修に参加し、目利き能力の向上等人材育成への取組み
- 融資部内に融資研修専任者を選任し、集合研修・店舗別ブロック研修の実施
- 担保・保証に過度に依存しない各種融資商品の開発

■地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

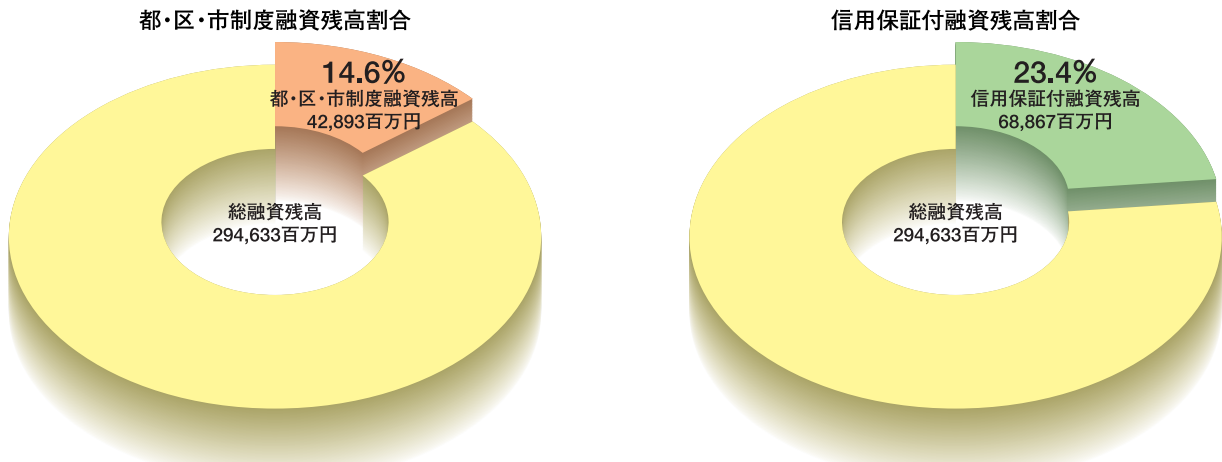
- 産学官の連携に向け、商工3団体(中小企業団体中央会・商工会議所連合会・商工会連合会)と連携したネットワークの構築
- 多重債務者問題(再チャレンジ支援)として、セミナーの開催等専門家との連携強化



大信の地域貢献活動&トピックス

制度融資や信用保証付融資を通じた地元中小企業への支援と地域活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に取り組んでおります。平成19年9月末現在の都・区・市制度融資残高は42,893百万円で、総融資残高294,633百万円に占める割合は14.6%となっております。また、信用保証付融資残高は68,867百万円で総融資残高に占める割合は23.4%に達しており、都内信用組合トップの実績を誇っております。



(財)あすなる会に対し45年間にわたり賛助活動を継続

大信は、昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に財団法人あすなる会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなる会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり45年間支援を継続しております。

(財)あすなる会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに賛助会員の方々を対象とした中小企業経営環境研究会、あすなる会と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動基盤は大信と大信39店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。詳細は(財)あすなる会ホームページをご覧ください。http://www.asunarakai.org

稲垣節子先生による新社会人ビジネスマナー研修



研修を受ける新社会人
「隅田川花火大会」観賞会

平成19年7月10日賛助会員を対象とした「第77回中小企業経営環境研究会」



ご講演の野口 悠紀雄先生

平成19年9月9日 あすなる祭



ご講演の森田 実先生

平成19年10月7日(社)日勤協主催「若ものを考えるつどい2007」



あすなる会館屋上にて



来賓・役員と会員の記念撮影



応募作文で厚生労働大臣賞を受賞した後藤祐貴子さん

経営情報・地域情報を永年にわたり提供

■都内中小企業景況調査結果を 26年間に亘り経営情報として提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て昭和56年から26年に亘り毎年5月と11月の2回（通算52回）都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種875社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。調査結果は都内23区と多摩地区に分け地域性を反映する形としております。



■「大信ふれあいニュース フロイデ」を 発行し地域情報として提供

「大信ふれあいニュース フロイデ」は、地域やお客様のご紹介・PRなど身近な情報紙として年2回（7月・11月）発行しており、昭和29年の創刊以来現在171号を数えます。一・二面では大信39店舗の近隣商店街の歴史やイベント、案内図などをシリーズで紹介・PRするコーナー、三・四面は「あなたのご近所から」「ふれあい伝言板」と題するコーナーで、地域の行事や地元の名店のご紹介など地域情報を提供しております。



講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

■「しん研」第10回講演会 「経営者のためのコーチング」が大好評

多摩地域の事業経営者を中心として活発な活動を続けている「だいしん経営研究会（略称しん研）」は、平成19年6月12日（火）八王子営業部大ホールにおいて第10回講演会を開催しました。今回は井手コンサルティングオフィス代表の井手美由樹先生をお招きして「経営者のためのコーチング」と題し、コーチング手法を取り入れた組織の活性化についてご講演をいただきました。井手先生のテンポの良い説明に、参加された会員の方々は熱心に聴講され、なごやかな雰囲気の中、講演会は大好評を得て終了しました。



ご講演をされる井手美由樹先生

■第27回大信すえひろ観劇会 「細川たかし・長山洋子特別公演」が大好評

大信創立55周年記念第27回大信すえひろ観劇会が平成19年6月4日、明治座（昼の部借切り）で開催され、1,300名を超えるお客様が「細川たかし・長山洋子特別公演」を楽しまれました。開演前に安田常務理事から主催者を代表して、55周年を迎えるにあたり日頃のご愛顧に対するお礼の挨拶と大信の業況報告等を行いました。今回は55周年記念として、ご参加の皆様へ亀井堂の「人形焼」のお土産を贈呈し大変喜ばれました。オンステージが最高潮になったところで田町駅前支店の取引先・谷田あさ子様から細川たかしさんに駒沢支店の取引先・内野秀雄様から長山洋子さんに花束贈呈が行われました。大信すえひろ観劇会は年金の受取を大信にご指定いただいているお客様の会で年2～3回定例実施しております。



花束を贈呈する内野秀雄様（左）と谷田あさ子様

各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

品川駅東口支店

春と夏の2回、東京中日新聞社前にて港南振興会会員約30社と共に全国交通安全運動に協力参加いたしました。



目黒支店

昭和49年から毎朝店舗裏の清水稲荷神社境内の清掃を行っています。この活動で平成14年に社団法人日本善行会から表彰されました。



立川支店

平成19年8月19日(日)に地元熊野神社例大祭が開催されました。高松町商店街の神輿の担ぎ手として男子職員全員が参加しました。



荻窪支店

荻窪北口大通り商店街・青梅街道沿いのカラー舗装が完成したことから、商店街の皆さんと共に街をきれいにするクリーン作戦に参加しております。



石川支店

ロビー掲示板を開放し、2~3ヶ月毎に地元町会や愛好会などの作品を展示しています。写真は「自然流」ちぎり絵の愛好会作品展です。



十条支店

北区まちづくり部が中心となり、王子警察署、JR十条駅、町会と大信が一体となり年2回十条駅周辺の放置自転車クリーンキャンペーンを実施しています。



吉祥寺支店

平成19年9月9日、地元恒例の「吉祥寺まつり」に当店駐車場を神酒所に提供し、男子職員全員が神輿担ぎに協力参加しました。



亀戸支店

地元大島2丁目町会の納涼盆踊り大会が平成19年8月25日~27日に大島防災公園で盛大に行われ、支店長以下全員が参加しました。



新宿支店

毎年、春と秋の全国交通安全運動期間中、地元町会・四谷警察署・交通安全協会と共に交通安全の大切さをPRしています。



高円寺支店

昭和43年以来毎年8月地元氷川神社例大祭に高円寺南中央町会の一員として神輿の担ぎ手として参加しております。



新小岩支店

葛飾区東新小岩5・7丁目のみのり商店会ちびっ子祭りが平成19年9月2日(日)に開催され、当店職員が商店会の一員として協力参加しました。



押上支店

地元天祖神社牛嶋神社の5年に1度の例大祭が9月15日、16日に行われ神輿の担ぎ手や露店の手伝いに支店長以下男子職員が参加しました。



お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客様からのご相談やご要望などにお応えできるよう態勢整備に努めております

大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部にお客様とのホットラインの役目を担う「お客様相談室」(フリーダイヤル0120-402-003)を設置してお客様からのご相談やご要望などに対応できる態勢を整え、安心してお取引いただけるようお客様との信頼関係強化に努めております。